



(写真上) 滋賀縣護國神社宮司 山本 賢司 謹書 (写真下) 滋賀県英霊顕彰館全景



待望の滋賀県英霊顕彰館が開館

揮毫 中野幸彦多賀大社名誉宮司

滋賀縣護國神社  
 社 敬奉 贊會  
 發行所  
 滋賀縣護國神社社務所  
 〒522-0001 彦根市尾末町1番59号  
 電話 0749 (22) 0822  
 印刷 近江印刷(株)

境内に建設中であつた「滋賀県英霊顕彰館」が、平成二十八年十月五日の秋季大祭に合わせ開館しました。この英霊顕彰館の建設は、大東亜戦争が終結して七十年、滋賀縣護國神社創立百四十年を記念して平成二十七年度より取り組んできた記念事業です。

戦後七十年が経過し、ご遺族の高齢化や代替わりにより、英霊のお写真を処分される相談が神社に多く寄せられるようになりました。そこで、英霊のご存在を将来に亙り、具体的に目に見える形で伝えてゆくために、在りし日のお姿(写真)を掲揚・展示して、後世の人々に英霊顕彰を継承してゆきたいと存じます。

一般財団法人滋賀県遺族会の協力を得てご家庭に保存されている英霊のお写真を神社へお預け頂き、その複製をアルミ板に印刷し、現在約三千二百件分のお写真が展示・掲揚されました。

顕彰館内には元滋賀県知事の國松善次氏(当会副会長)から奉納された「慰霊平和祈願御朱印屏風 全国護國神社自転車参拝録」も展示し、更には滋賀縣護國神社の前身が彦根招魂社であり、そのまた前身は招魂碑であった歴史も理解できる資料も展示されています。写真の展示・掲揚スペースは六千件分ありますので、ぜひこの機会にご観覧、お申し込みを頂ければ幸いです。



# 滋賀県英霊顕彰館 開館にあたり



滋賀縣護國神社  
宮司  
山本賢司

秋季大祭が斎行された平成二十八年十月五日、待望の英霊顕彰館が開館致しました。昨年の十一月に着工してから約一年、構想準備から三年、漸く開館に至り安堵しています。

数年前でしたか、ある遺族さんからお申し出により、英霊のお写真を預かりすることになりました。その方が言われるには、「家を継承してくれる者が英霊に無関心であり私の死後、恐らく英霊に関する事物は廃棄処分されるでしょう。それで

は申し訳ないので本日持参しました」との由。その後、同様の事象が二、三続いた折、靖國神社遊就館のお写真申し込みは終了していること知りました。それならば、私共でこのことを始めようではないか、と考え、神社総代会での協議を経て実現した次第です。

滋賀県英霊顕彰館と命名致しました。現在三千二百件のお申し込みを頂いています。お飾り出来るスペースは六千件ですから、まだまだ余裕があります。周囲の方々にお知らせ頂き、この機会に是非共にお申し込みくださるようお願い致します。

戦前、戦中派世代の方が次第に鬼籍に入られ、戦争そのものを知る人が減少してきます。このままでは、将来「英霊」という言葉の意味は無論言葉そのものが消滅するかも知れないと、危惧します。

私共は、英霊のご存在を永久に伝承してゆき、感謝と慰霊の誠を捧げ、飾られることになりました。祖國繁栄の礎となられた英霊に対し、謹んで鎮魂の意を表する次第です。

昭和二十年（一九四五年）の敗戦から去年（二〇一五年）で七十年の歳月が過ぎ、ここにお祀りする英霊のご遺族も高齢となられ、確実に世代が移行行くところであります。次世代に伝えていきたい国の歴史、家族の歴史は、人から人へ、想いと

存在するのです。日本という国の存在もまた然りです。

護國神社応接室の扁額に、前身である招魂社造営の由来が記されています。「英霊のおまつりには身寄りの有る無し、責任の有る無しにかかわらず力を尽くす必要がある。ましてや責任有る地位の人は当然尽くさねばならない。そのことが正しく国を守る、郷土を愛することに繋がるのである」と。現世に生きる我々の責務として英霊の祭祀に力を尽くさねばなりません。そして顕彰してゆく必要があります。英霊顕彰館建設の意義はそういう点にもあるのです。

夏のみたま祭に際し、一部のお写真をお飾りしてご見学願いました。その時、ご家族で来られた方は傍らの娘さんに「お祖父さんはここに居てはるから、また会いに来てあげ

がれていくものであります。形のあるものも必要であると思えます。

英霊顕彰館が作られ、戦いで犠牲となられた英霊を招魂社として、護國神社としてお祭りすることの意味も形を見て実感できるのではないのでしょうか。一つの節目の時期にこの英霊顕彰館が完成したことは、誠に時宜をえた開館であるとおよろこび申し上げます。



# 滋賀縣護國神社 英霊顕彰館開館にあたって



滋賀縣護國神社  
崇敬奉賛会  
会長  
河本英典

この秋英霊顕彰館が開館しました。ご遺族の皆さまのご協力により、戦没された方々の多くの遺影が一堂に

てね。そうなんです、ここに来れば英霊はおられるのです。お顔が見られるのです。

顕彰館は午前十時から午後四時まで開館しています（月曜日は休館日）。ご参拝かたがたご観覧くださるようご案内申し上げます。

この度の顕彰館の英霊のお写真お申し込みと掲揚展示につきましては、各遺族会の皆様に格段のご協力を賜りました。紙面をお借り致しまして厚く御礼申し上げます。

# 英霊顕彰館建設に寄せて



株式会社伊藤組  
代表取締役  
奥田 秀

本建築物は、国家の為に尊き命を奉げられた英霊の御遺影を掲揚する、畏れ多く意義深いものです。特に先の大戦では多くの若い命が捧げられました。お一人おひとりの御遺影を拝見し、未だ未だ有ったはずの人生。万感胸に迫るものがあります。現在の日本国の繁栄に感謝し、永久の平和を誓い、心新たに身近にできたこの場に、多くの県民の参拝を願うものです。この様な建設に携われた喜びと無事竣工を迎えられたことに感謝申し上げます。



平成二十八年四月五日

### 春季例大祭祭文

## 英霊顕彰館開館を慶ぶ



一般財団法人  
滋賀県遺族会  
会長  
岸田 孝一

滋賀県英霊顕彰館の開館を心よりお祝い申し上げます。私は、平成二十八年四月五日の滋賀県護国神社春季例大祭で祭文奏上の機会を得まして、英霊顕彰館への思いを述べさせていただきました。その喜びはいまも変わらぬ、この度のお祝いメッセージとして再掲させていただきます。

本日、ここ滋賀県護国神社の御神前に於きまして、平成二十八年春の大祭が斎行されるにあたり、一般財団法人滋賀県遺族会を代表して、謹んで祭文を奏上申し上げます。

すべてが躍動を始める好季節の四月になりました。今年の冬は例年に比べ雪が少なく、活動し易く有難い反面、夏場の水不足が少し心配となつて居りますが、これも自然が織りなすこと故、しっかりと対応して日々を送らせて頂き度く思います。

先の大東亜戦争が敗戦終結して七十一年となります。年月の過ぎゆく早さをつくづくと感じさせられるものであります。今日私達が享受している平和と繁栄は、先の大戦で、国のため家族の幸せのために、尊い命を奉げられた多くの英霊がおられたこ

とによるものであり、ひとときも忘れてはならないと思います。

私達遺族も高齢化が進み、英霊をお守りする代弁者となるべき家族も少なくなつて参りました。そんな折、滋賀県護国神社山本賢司宮司は、ご本殿横の境内に英霊顕彰館をお建て下さり、諸英霊の崇高な働きとその存在を、未来永劫にわたり語り伝え残そうとして下さいます。

私の父は、護国神社に祭神としてお祀りしていただいております。写真の掲揚を申込致しましたが、私の親戚である遺族へ写真掲揚を勧めましたところ、「自分は全く知らないオジさんだから」といつて断られました。戦没者の甥にあたる者が、このような答えを返して極めて残念に思います。英霊が、もしこの言葉を聞かれたなら「一つしかない命を懸けたのに！この世に生きた存在すら消えてしまふ」と、悲しまれることでしょう。遺族の家で先祖として残す以上に、滋賀県護国神社の英霊顕彰館に未永く残していただけることの意義は誠に大きいものであります。顕彰写真を通して孫・ひ孫、さらにその先代々に語り伝えていけることは有り難く、大切なことであると思えます。

遺族会の組織を継承する孫・ひ孫の会員も、日毎に登録が増え、今では二百五十名になり心強く思っています。平均年齢も四十五歳となります。先日の役員会にて先輩より、青年と言えぬ年代では無いのでは、と御指摘を頂き、「次世代部」と教えて頂きました。次世代部、正に未来にわたつての名称と意を決しております。天皇・皇后両陛下におかれましては、平

成二十八年一月二十六日から三十日までフイリピン国へ戦没者慰霊にお出まし下さいました。慰霊は、フイリピン人の戦没者が眠る無名戦士の墓に拝礼の後、カリヤヤにあります日本政府建立の「比島戦没者の碑」に供花拝礼と続きました。両陛下は八十歳を越えておられます。フイリピンで両陛下をお迎えした遺族会員と日本遺族会水落敏栄会長に「高齢になつておられる遺族の方をよろしくお世話してあげて下さい。お願い致します。」とお言葉を掛けて下さつたと聞きました。私達に下さつたお言葉と、心につかり受け止めて、これから元気で英霊に護られた生活を目指します。



元傷痍軍人妻の会  
会長  
原 英子

この度は関係各位様のおかげで英霊顕彰館が落成開館されることにより感謝申し上げます。英霊の志を深く心に刻み、二度と戦争のない世界平和を心から念じております。  
合掌  
東近江市  
原 英子

## 英霊顕彰館に思う



滋賀県遺族会青年部会  
部会長  
辻 正人

護国神社境内の一角、一歩足を踏み入れると木の香漂う凜とした空間、県下英霊の在りし日の姿がそこにある。

疑うことのない平和の中で育つた我々孫世代の遺族にとつて、今の自分よりも若くして平和の礎となられたこの姿とどう向き合うか、「百聞は一見に如かず」顕彰館を訪れ平和の有り難さを感じる意義は大きいのではないかと。

今後、益々の充実と付加価値の向上を祈念し、竣工のお祝いの言葉としたい。

### 拝観者の声

- これから美しい日本は私達が守っていきます。  
彦根市 男性
- 写真でしか父を知らないですが、母が苦勞して大学まで行く事ができました。一度でも父の声を聞けたらと思いました。  
京都市 女性
- 英霊に感謝、御國護らせ給へ。  
無記名



定例総会のご報告

七月二十日、平成二十八年度定例総会が開催されました。先立ち滋賀縣護國神社拝殿にて奉告祭並びに滋賀県英霊顕彰館竣工清祓式を斎行。



総会の様子

河本英典崇敬奉賛会長より山本宮司に奉納金目録(四百三十万円也・年三回分割奉納)が贈呈されました。引き続きの総会では、各議案どおり承認。平成二十九年一月よりNHKの大河ドラマ「おんな城主 直虎」の放映が始まるため、新規事業として独自の絵馬や御朱印帳の作成検討を進めること等が決議されました。



この日は英霊顕彰館の竣工と重なり、英霊の存在をより身近に感じました。参加者一同英霊顕彰活動により邁進することを確認して総会を閉じました。

平成27年度一事業報告

(自 平成27年6月1日～至 平成28年5月31日)

- 平成27年
  - 6月19日 理事会・評議員会 於 滋賀縣護國神社
  - 7月11日 総会 於 彦根キャスルリゾート&スパ
  - 8月18日 広報委員会 於 滋賀縣護國神社
  - 10月5日 秋季例大祭 役員参列 於 滋賀縣護國神社 (終戦70周年奉幣大祭)
  - 10月11日 広報委員会 於 滋賀縣護國神社
  - 10月29日 御神符頒布始祭並頒布式 於 滋賀縣護國神社
  - 10月29日 崇敬奉賛会通信発行(13,500部)
- 平成28年
  - 4月5日 春季例大祭 役員参列 於 滋賀縣護國神社

※神社奉納金 年間3回にて430万円を奉納

崇敬奉賛会会員現況

会員数 5,644名

(内 訳)

- 正会員 5,232名
- 維持会員 191名
- 賛助会員 56名
- 特別会員 35名
- 終身会員 130名

平成28年7月現在

滋賀縣護國神社は今を生きる我々の幸せを願って散華された滋賀県出身の殉国の「みたま」をお祀りする神社です。末永く「みたま」をお祀りするために崇敬奉賛会へご加入戴きますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

※ご入会を希望される方は、地元遺族会役員又は直接護國神社へ申し出ください。

申込書

※ご希望の所に☑を入れてください

- 正会員…年額 金 1,000円
- 維持会員…年額 金 3,000円
- 賛助会員…年額 金 5,000円
- 特別会員…年額 金 10,000円
- 終身会員…一時 金 100,000円

〒

ご住所 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

お名前 \_\_\_\_\_

〒522-0001 彦根市尾末町 1-59 滋賀縣護國神社・崇敬奉賛会 ☎0749-22-0822